

指定管理者モニタリングシート（令和2年度分）

作成日	R3. 9. 10
ヒアリング実施日	R3. 9. 16

1 施設及び指定管理者の概要

施設名	結城市障害者福祉センター	担当課	社会福祉課
設置年月日	H13. 4. 1	指定管理日	R1. 4. 1
指定回数	1回	前指定期間	なし
指定管理者の名称	社会福祉法人結城市社会福祉協議会	現指定期間	5年（R1. 4. 1～R5. 3. 31）

2 指標の推移等

（1）指定管理委託料

※令和2年度までは決算額、令和3年度は予算額

	導入前年度（H30）	前指定期間 開始年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
年間委託金額	23,127 千円	千円	18,790 千円	12,261 千円	9,476 千円	4,373 千円	0 千円
対導入前年度比		0.0 %	81.2 %	53.0 %	41.0 %	18.9 %	0.0 %

特記事項	基本協定の指定管理料を44,900,000円（5年間）とし、障害福祉サービスを実施することで財源を確保し、令和5年度に事業の黒字化を目指す。
------	--

（2）利用者数

※令和2年度までは実績、令和3年度は見込み

	導入前年度（H30）	前指定期間 開始年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
年間利用者数	15 人	人	14 人	15 人	24 人	29 人	35 人
対導入前年度比		0.0 %	93.3 %	100.0 %	160.0 %	193.3 %	233.3 %

特記事項	生活介護、就労支援継続B型事業の利用を計上
------	-----------------------

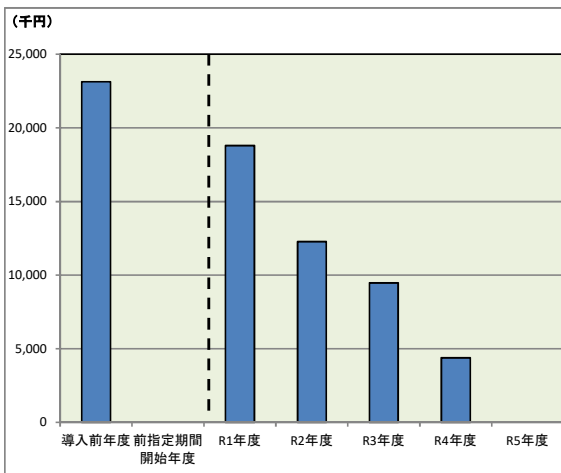
（3）利用料金収入

※令和2年度までは実績、令和3年度は見込み

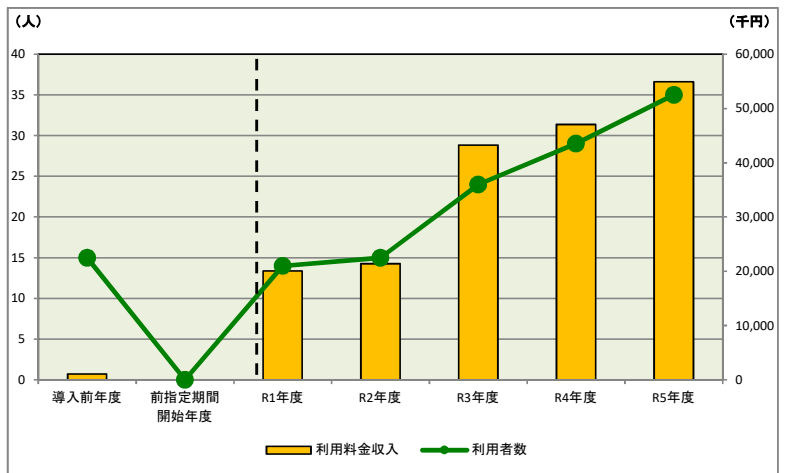
	導入前年度（H30）	前指定期間 開始年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
年間利用料金収入	1,078 千円	千円	20,047 千円	21,415 千円	43,269 千円	47,069 千円	54,937 千円
対導入前年度比		0.0 %	1,859.6 %	1,986.5 %	4,013.8 %	4,366.3 %	5,096.2 %

特記事項	導入前年度は地域活動支援センター事業利用者負担金を計上、令和元年度以降は生活介護、就労支援継続B型事業に係る給付費を計上
------	--

【年間委託金額の推移】



【利用者数と利用料金収入の推移】



3 指定管理者の評価

施設名：結城市障害者福祉センター

令和2年度分

区 分		評 価 項 目		評 価		
				自己	所管課	備 考
市民の平等利用、サービスの質の維持・向上	平等な利用を図るための方策	1	利用者が施設を平等に利用できるよう配慮	3	3	
		2	利用者に対する窓口、電話等での接遇、案内等は公平かつ適正に行う	3	3	
		3	自主事業計画等について、誰もが平等に参加できるよう適正に計画・実施する	3	3	
		4	貸館受付の申請期日並びに利用時間については、利用者に平等に遵守させる	3	3	
	及びサービスの向上の取組	5	利用件数・利用者数向上への取組	3	2	サービス利用者数の微増
		6	利用者への適正な情報提供	3	3	
		7	職員間での適正な情報共有	3	3	
		8	施設の適正な維持管理・修繕	3	3	
	に反対する苦情の対応	9	利用者からの苦情・要望等に対する十分な対応	3	3	
		10	職員間での適正な情報共有	3	2	情報共有が曖昧
		11	市と関係機関との連携体制の整備	3	2	報告連絡等の遅延
施設の利用促進等の取組等	利用促進策	12	エントランス等オープンスペースへの来場拡大、施設を知ってもらう活動の実施	3	3	
		13	地域の育成と支援、地域への貢献	3	3	
		14	市民の創造・交流の支援	3	3	
		15	施設稼働率を高めるための利用者サービスの実施	3	3	
	魅力的な自主事業の実施	16	地域に根ざした事業展開	3	3	
		17	鑑賞型事業の実施			
		18	普及啓発・育成事業の実施	3	2	新規事業の普及不足
		19	市民参加型事業の実施	3	3	
		20	施設の清掃と美観の維持	4	3	
適正な施設及び設備の維持管理	施設・設備の維持管理策	21	適切な保守点検の実施	3	3	
		22	改修・修繕の対応	3	3	
		23	職員による日常点検の実施	3	3	
		24	施設の保全計画	3	3	
		25	クール・ウォームビズの実施			
	環境に配慮した取組	26	施設利用時間に合わせた空調起動の調整	4	4	
		27	施設内各スペースの時間帯による節電	4	4	
		28	エコオフィス・施設化への取組	3	3	
		29	資源ごみのリサイクルや節水の心掛け	3	3	
		30	環境保全の取組	4	4	

安全対策、危機管理体制等に対する取組	利用者の安全確保策	31	安全で快適な環境の整備	3	3	
		32	日常の事故防止等の安全対策	4	3	事故に対する認識不足
		33	専門技術者による各種保守点検や業務委託の実施	3	3	
		34	日常的な防災意識・防災体制の充実強化	3	3	
		35	犯罪等の防止対策	3	3	
		36	関係機関との連携体制	3	3	
		37	応急救護についての適切な対応	3	3	看護師常駐し適切に対応
		38	舞台等利用上の安全管理の徹底			
		39	賠償責任保険への加入	3	3	
	危事故発生時対策の	40	危機管理方針による適切な対応	3	3	
		41	有事における避難誘導體制の整備	3	3	
		42	防火避難訓練及び防犯訓練の実施	3	3	
		43	職員緊急連絡網の作成	3	3	
個人の権利保護の措置	44	利用者の適正な個人情報保護	3	3		
	45	情報公開規程の適正な運用	3	3		
指定管理者の安定性	の公益推進性	46	結城市民の創造的な活動の育成を図り、もって市民の振興と発展に寄与する	3	3	
		性経営（資産・人安定等）	47	事業計画に基づく効率的な事業経営及び効果的な資金運用	3	2
	48		効率的な人員配置	2	2	
	49		費用対効果を念頭に置いた適正な施設の維持管理	3	3	
	50		成果収益による剰余金の積立て			
	経費の節減策	51	運営コストの改善	3	3	
		52	公的資金（助成金・補助金等）の獲得による経費削減	3	3	
		53	業務委託費の削減	3	3	
54		財務経費の削減	3	3		
総合評価	評価・コメント	<p>施設管理業務と障害福祉サービス事業を一体的に運営することで、現場に即した効率的・機動的な事務処理を行うとともに、利用者へのサービスの質の向上を図ることができた。</p> <p>指定管理者制度の導入にあたり、多機能事業所として、花作り等の事業を中心とした「就労継続支援B型事業」や日中活動の場として「生活介護事業」を実施しているが、事業所としてB型事業の花作りに注力する傾向が見受けられ、新たに始めた草木染が停滞し、「生活介護事業」への取組が不十分であるため、個別支援計画の目標に沿ったサービスの実践に努めていただきたい。サービス利用者については、以前からの利用者で固定しており、新規の利用者が見込めない状況である。今後、障害福祉サービス事業に係る給付費を自主財源としていることから、引き続き利用者の増加及びサービス向上に期待する。</p> <p>また、利用者一人一人の情報共有を職員間で図り、事故等がないよう対応していただきたい。</p> <p>なお、新型コロナウイルスの影響により、地域との交流・連携が困難な状況ではあるが、地域住民の理解を深めることは不可欠であるため、積極的にコミュニケーションを図るよう努めていただきたい。</p>				

※評価項目に係る評価区分

- 4（良好）：協定書及び仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- 3（普通）：協定書及び仕様書等を遵守し、その水準に沿った内容である。
- 2（課題）：協定書及び仕様書等を遵守しているが、一部に課題が見受けられる。
- 1（改善）：協定書及び仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な内容である。